

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		17
部	子ども健康部	課	子育て支援課	

1. 指定概要

施設概要	名称	北里こどもの家			建設年	平成26年		
	所在地	近江八幡市江頭町1014			利用対象	地域		
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。						
	規模	延べ床面積147㎡、階数 地上1階						
	指定管理開始年度	令和2年						
指定管理者	名称	一般社団法人 おうみ育ちの家						
	所在地	近江八幡市江頭町1014						
指定管理業務の内容	①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務							
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日 (5年間)							
指定管理料	令和3年度：	千円	令和4年度：	千円	令和5年度：	千円	令和6年度：	千円（見込）
利用料金制	採用している			選定方式	公募		応募者数	1者

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和5年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備を実施 ・ 日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、支援員が随時実施 ・ 保護者会の奉仕作業の実施	(よかったと評価できる事項) 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。 (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 備品の管理状況の把握が一部不十分である。
	(施設サービスの運営上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換、送迎時の意見交換による。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和5年度6,492千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 延長19時まで実施	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、事業が実施された。 (改善を要した事項と対応) 令和4年度に不適切な保育があったため、職員の研修等再発防止を図った。 (課題) 情報公開規定等を定められていない。
	(提案内容の実施業務) その他の業務 自主事業	なし		(よかったと評価できる事項) (改善を要した事項と対応) (課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・開設日数： 286日 ・延べ利用者数： 7580名 ・平均登録児童数： 42名 	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、施設利用が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和5年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。	市補助金支給要綱に基づき適正に運営された。
	<参考> ■収入 (18,603千円) 保育料等 7,160千円 補助金 11,443千円 ■支出 (18,654千円) 人件費 16,649千円 管理運営費 2,005千円	<参考> ■収入 (19,089千円) 保育料等 6,492千円 補助金 12,597千円 ■支出 (19,089千円) 人件費 17,784千円 管理運営費 1,305千円	(改善を要した事項と対応) 特になし
			(課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	今年度は4回保護者会を行った。そこでは子どもたちの学童での様子も報告した。個々の事はお迎え時や電話にてお伝えした。
評価頂いている内容	令和4年度に比べ全体的に評価が上がった。令和5年度は支援員が児童と保護者の関わりが良くなった。おやつに関しては手作りおやつ等、子どもの状況を考慮した。保護者が支援員に対して相談しやすい雰囲気作りや利用者の人権を守るという視点においても評価を戴いた事は、今後の励みになった。
苦情・意見等	次年度募集時期に入所できるかどうかで、保護者から問い合わせがあった。学童の玄関に毛虫が大量発生し、保護者から苦情があった。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

令和5年度から小学校との連携会議が開催され、放課後児童クラブから見た子どもたちの安全確保・保育充実の為の施設貸し出し・小学校側の児童クラブ担当者が明確化されるようになった。これに伴い児童の安全確保・遊び場の拡充・困りごとの相談がしやすくなった。今後とも継続的に開催していただきたい。また、出来るだけ保育現場に出向き、保育現場を見ていただきたい。

6. 指定管理者の自己評価コメント

指定管理者として、5年目の業務に入る。その間保育と言う仕事に関し全職員で力を合わせ行う事が出来た。職員も新しく変わりつつあるが、根本の子どもたちを中心にの福祉事業を常に頭に置いて行動を取ってきた。保護者からも沢山の感謝の声を頂いた。
また、指定管理業務を託された我々法人もこのように評価されなくてはならない。保育現場は、我々法人・支援員が支えていくものでなければならないからである。今後においてもこのモチベーションを崩すことなく、保育現場を支えて行きたい。

7. 所属の総括コメント

国や市の基準に基づく事業運営がなされている。また、地域とのつながりを大切に活動を取り入れる等の工夫や姿勢など評価している。引き続き、地域や小学校と連携を深め、支援員間で連絡を密にしながら、一段のサービス向上及び適正な施設の維持管理に努めていただきたい。